

# 資料 2

川崎市の概要と  
自転車利用の  
現状について

## 01 川崎市の概要







# 01 川崎市の概要

## ② 交通概要（鉄道・道路・バス路線）

- ◆ 鉄道網は、JR東海道線・京浜東北線・横須賀線、京急本線、東急東横線・目黒線・田園都市線、小田急小田原線、京王相模原線が東京都心から放射線に広がり市内を横断する路線と、JR南武線や京急大師線、小田急多摩線の市内や地域を縦断する路線により形成されている。また、横浜市高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）が計画されている。
- ◆ 市内には55の鉄道駅があり、「市域面積当たりの鉄道駅数」を政令市及び東京都区部の21都市で比較すると、川崎市は4番目に密度が高い。
- ◆ 「市域面積当たりのバス停留所数」を政令指定都市（20都市）で比較すると、川崎市が最も多い。また、川崎臨海部で川崎市初のBRTが導入されている。
- ◆ 道路交通網は、東京都心から放射状に広がり市内を横断する高速道路や国道などと、市域を南北に連絡する国道409号線などにより、本市の主要幹線道路網が形成されている。

【出典：川崎市総合都市交通計画（H30.3）】

### 道路網

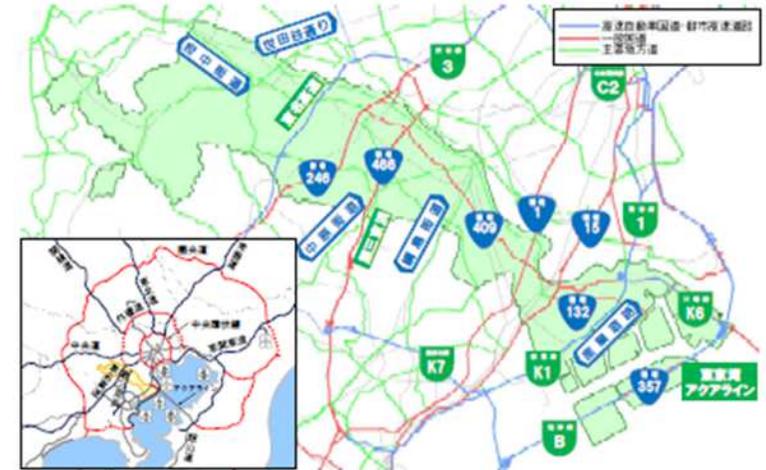


図 道路網の整備状況  
(平成 28(2016)年度末時点)

### 鉄道網



図 鉄道網の整備状況(平成 28(2016)年度末時点)

### バス路線網

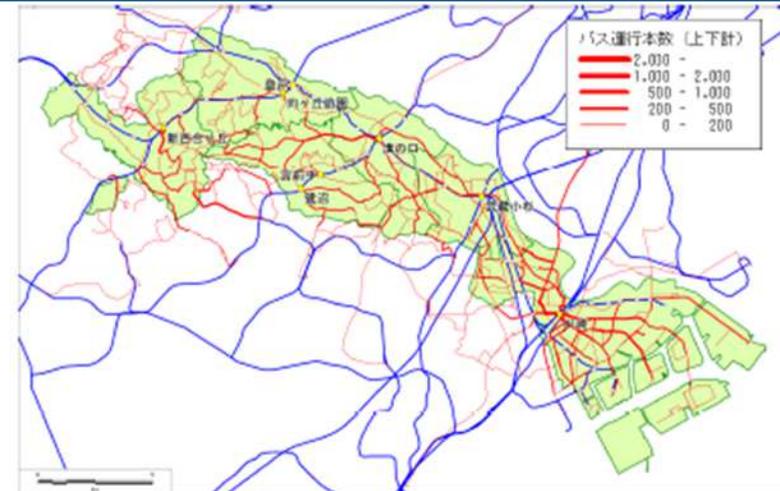


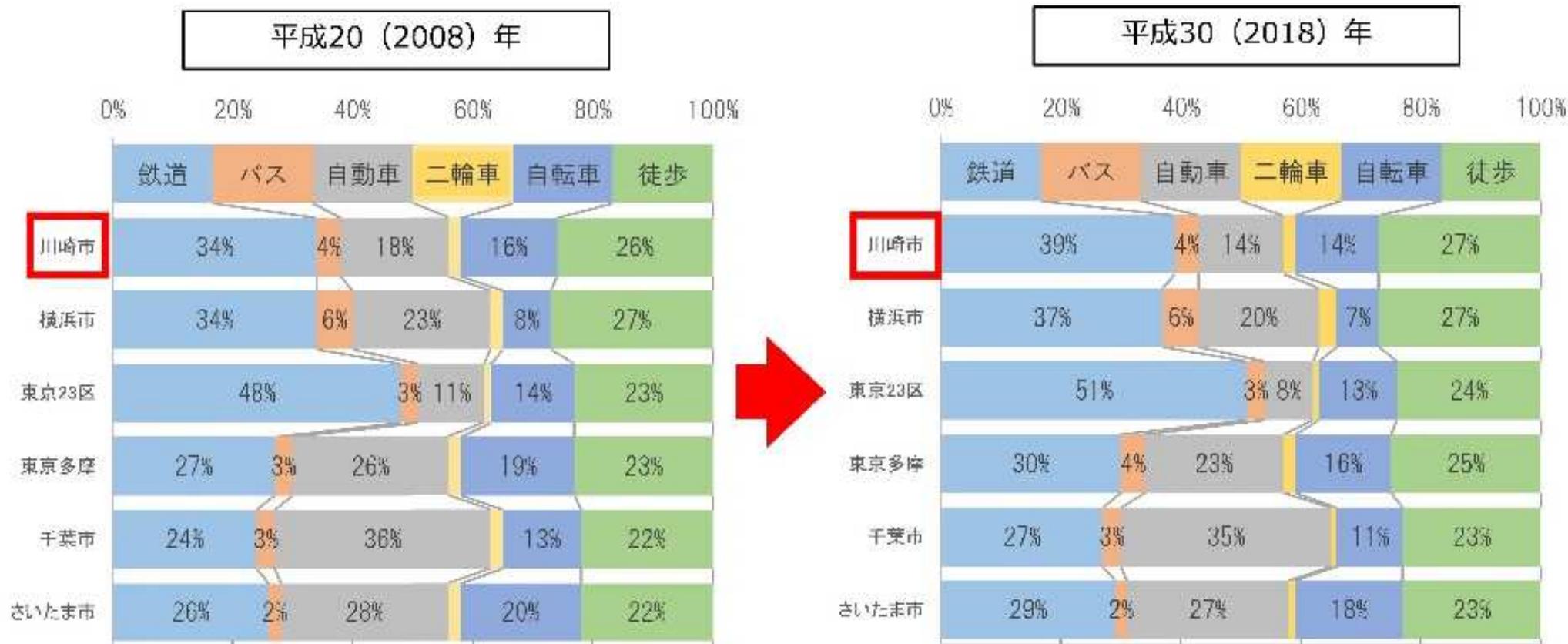
図 市内の路線バス運行本数  
(平成 28(2016)年度末時点)

# 01 川崎市の概要

## ③ 都市別交通分担率（代表交通）

- ◆ 近年、どの都市も代表交通としての自転車の分担率は減少しているが、さいたま市や多摩地域に次いで**自転車分担率は比較的高い**。
- ◆ 近年の傾向としては、鉄道及び徒歩が増加傾向にあり、バスが横ばい、自動車や**自転車が減少傾向**にある。

### ● 都市別（代表交通手段分担率）



(東京都市圏パーソントリップ調査結果より作成)

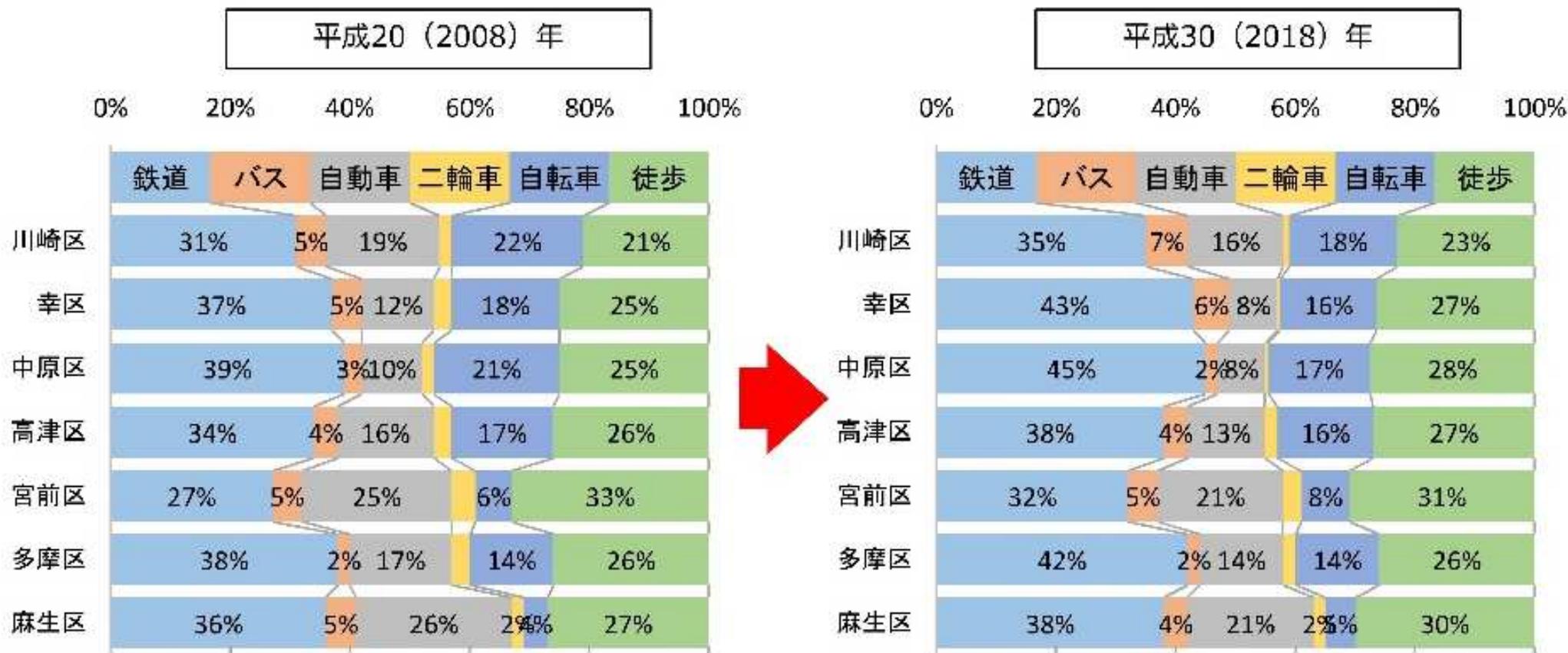
【出典：かわさきの交通 (R4.3)】

# 01 川崎市の概要

## ④ 市内の区別交通分担率

- ◆ 区別で見ると、**宮前区のみ自転車分担率が増加**しており、その他の地域は減少している。
- ◆ 自転車分担率が高いのは、川崎区18%、中原区17%、幸区16%、高津区16%となっており、宮前区8%や麻生区5%は市の平均よりも低い。

### ● 川崎市・区別（代表交通手段分担率）



(東京都市圏パーソントリップ調査結果より作成)

【出典：かわさきの交通 (R4.3)】

# 01 川崎市の概要

## ⑤ 自転車分担率・自転車保有状況

### 年齢別代表交通手段

- ◆ 川崎市では、自転車の分担率は84歳までの区分において市の平均と同等の利用がされている。

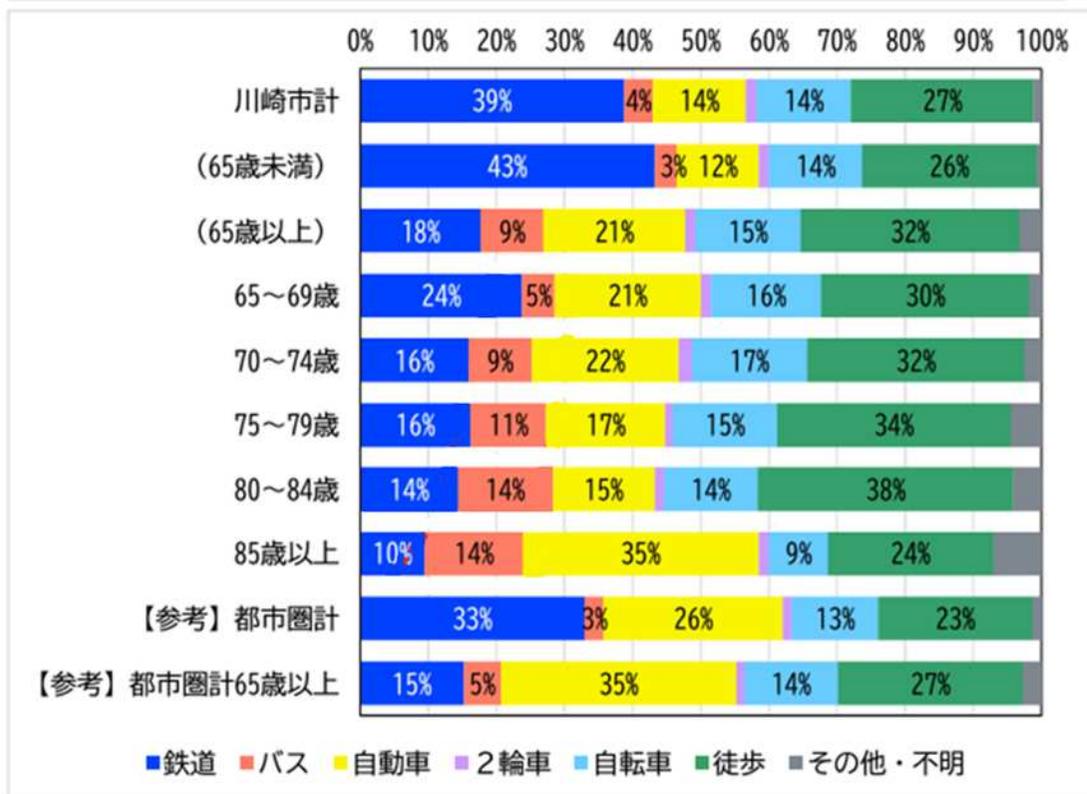


図 市内発着の移動における代表交通手段分担率  
(出典)平成30(2018)年東京都市圏パーソントリップ調査

【出典：川崎市地域公共交通計画 (R3.3)】

### 自転車保有状況

- ◆ 保有台数は、過去10年で約20%減少している。
- ◆ 地区別の1世帯あたり保有台数を見ると、高津区が最も多く、中原区、川崎区の順に多い。平坦部に多い傾向がある。

#### 保有台数の推移

	保有台数 (千台)	1世帯あたり保有台数 (台)
2012年	852	1.277
2018年	735	1.065
2021年	682	0.914

#### 地区別保有台数 (2021)

	保有台数 (千台)	1世帯あたり保有台数 (台)
川崎区	122	0.996
中原区	143	1.064
高津区	151	1.326
多摩区	103	0.912
宮前区	60	0.590
その他 (幸区・麻生区)	102	0.641

【出典：自転車保有並びに使用実態に関する調査報告書 (一般財団法人 自転車産業振興協会)】

# 01 川崎市の概要

## ⑥ 駅別端末交通自転車分担率

駅別端末交通手段(自転車)トリップ数  
H30



駅別端末交通手段分担率H30



自転車分担率  
(H30) 上位10駅

新川崎	12.0%
登戸	11.5%
若葉台	11.4%
二子新地	10.6%
溝の口	9.9%
京王稲田堤	9.1%
元住吉	8.9%
柿生	8.4%
鹿島田	7.7%
武蔵新城	7.2%

バイク分担率  
(H30) 上位10駅

向ヶ丘遊園	1.2%
若葉台	0.9%
宮前平	0.9%
新川崎	0.8%
新百合ヶ丘	0.8%
久地	0.8%
梶が谷	0.8%
生田	0.7%
栗平	0.7%
登戸	0.4%

自転車トリップ数  
(H30) 上位10駅

川崎	15,087
武蔵小杉	14,210
溝の口	8,227
登戸	6,297
元住吉	5,782
新川崎	5,751
武蔵新城	5,050
武蔵中原	3,959
向ヶ丘遊園	3,876
柿生	3,179

自転車トリップ数  
過去10年増加数上位10駅

武蔵小杉	1,790
若葉台	1,489
武蔵新城	800
平間	766
登戸	719
小島新田	716
新百合ヶ丘	429
溝の口	428
久地	407
宿河原	331

【出典：東京都市圏パーソントリップ調査 (S63-H30) をもとに作成】